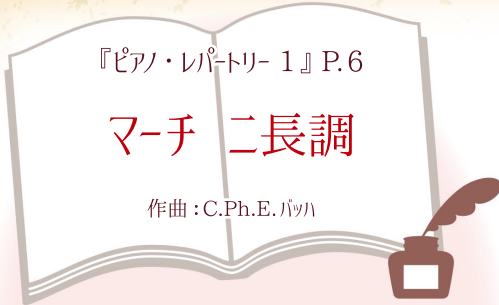


# 隠れた名曲から辿る音楽史

ピアノ科ベーシックコース主教材『ピアノ・レパートリー 1・2』で取り上げている作曲家の作品や生涯、当時の時代背景などをとおして、古今東西の音楽の歴史を紐解いていきます。



『ピアノ・レパートリー 1』P.6

## マーチ 二長調

作曲：C.Ph.E. バッハ

マーチ（行進曲）は、その名のとおりに行進の伴奏、またはその様子を描いた楽曲で、古くから儀式や軍楽などで使われてきました。主に2拍子か4拍子で作られており、日本の吹奏楽コンクールの課題曲などではマーチの楽曲がよく採用されています。また、マーチを国歌として採用する国もあり、軽快でリズムカルなものから重々しく荘厳なものまで、国によってさまざまな特色があります。

C.Ph.E. バッハの『マーチ 二長調』は、マーチならではのハッキリとした2分の2拍子のリズムで、明るく軽快な雰囲気の特徴の曲です。

## カール・フィリップ・エマヌエル・バッハ

(1714年-1788年)



18世紀半ば、バロックから古典派に変わる時代の過渡期に活躍し、古典派音楽の基礎を築いたドイツ人音楽家です。J.S. バッハの次男として生まれ、大学在学中に音楽の道へ進むことを決心。宮廷でクラヴィア（フォルテピアノやチェンバロなどの鍵盤楽器の総称）奏者の地位を確立

する一方、作曲や音楽理論の才能も高く評価され、当時は父よりも有名な存在でした。父の友人で、自身の名付け親でもあるG.P. テレマンが死去すると、ドイツ北部の都市ハンブルクへ移住してその後を継ぎ、晩年まで音楽活動に励みました。彼の作風や音楽理論は、F.J. ハイドンやW.A. モーツァルト、L.v. ベートーヴェンら古典派の音楽家たちに多大な影響を与えたとされています。

代表作・  
著作

『チェロ協奏曲イ長調 Wq.172』

『愛好家と専門家のための6つのクラヴィア・ソナタ』

『正しいクラヴィア奏法への試論』（クラヴィアの教則本）

### C.Ph.E. バッハくんに聞く

## バロック時代のドイツ音楽 ～器楽編～



古代よりルネサンスの時代まで、音楽は主に声楽を中心に発展してきたんだけど、バロック時代に入って楽器が進化し、性能が向上したことによって、音楽家たちは楽器の演奏による音楽『器楽』を作るようになっていったんだ。そして、鍵盤音楽や室内楽曲、管弦楽曲といった形式が確立され、器楽は声楽と同じくらい重要な音楽として発展していく。ボクもクラヴィア奏者としての活動のかたわら、鍵盤楽器の作品や教則本を執筆したよ。

▼ヴァイオリン



チェンバロ▲

▶オルガンは音色や音量の改良が進み、バロック時代の多くの教会には、大規模なパイプオルガンが設置された。



ボクの生まれ育ったドイツでは、器楽はオルガン音楽を中心に盛んになっていったんだ。バロック時代の初期から中期にかけて、ドイツ国内にはオルガン音楽の巨匠D. ブクステフーデらによる北ドイツ・オルガン楽派と、イタリアの流れをくむJ.J. フローベルガーらによる南ドイツ・オルガン楽派が出現。ともに発展しながら、その流れはオルガン音楽の頂点とも言うべきボクの父、J.S. バッハに受け継がれ、最盛期を迎えるよ。父の死後、時代の変化とともにオルガン音楽は衰退していついっけれど、19世紀になると再び息を吹き返すんだ。

オルガン音楽ではフーガをはじめ、ファンタジア（幻想曲）、トッカータ、プレリュード（前奏曲）、シャコンヌといった固有の形式が確立したんだ。



ヨハン・セバスティアン・バッハ  
(1685年-1750年)

## ピアノ・レパートリー 1・2

～時代様式、スタイルを学ぶ～

「ピアノ・スケッチ」を修了程度のお子さまから大人の初心者の方までを対象に、著名作曲家の作品を中心として、四期（バロック、古典、ロマン、近現代）それぞれの時代様式の特徴がよく表われている楽曲を集めたテキストです。



### ピアノ・レパートリー 1

- 定価：1,000円+税
- 品番：T31-114
- 対応級：ピアノ科ベーシックコース 5～2級
- 収録曲：全15曲



### ピアノ・レパートリー 2

- 定価：1,000円+税
- 品番：T31-115
- 対応級：ピアノ科ベーシックコース 3～2級
- 収録曲：全12曲

対応SMFミュージックデータ [1巻：6曲セット/2巻：4曲セット] 定価：各800円+税  
『ローランド ネットワーク サービス』会員専用ページにてダウンロード購入いただけます。